

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度	R5年度	中期 目標		予算額 （千円）	決算額 （千円）						
I-1-(1)-① 仕事と子育ての両立支援	1	④ ⑤ ⑧ ⑩	女性輝き！推進事業	雇用・産業人材政策課	総務局女性の輝く社会推進室	働く女性・働きたい女性が、各々の希望に応じ、その個性と能力を十分に発揮し輝けるよう、キャリアアップや就職、創業支援、子育てとの両立支援等、幅広く女性の就業を支援するほか、ウーマンワークカフェ北九州の更なる周知広報と新規利用者の獲得を図る。	女性の就業率 (25～44歳)	70% (H27年 国勢調査)	目標 単年度目標なし	73 %	73% (R5年度)	11,081	10,248	9,628	9,300	順調	【評価理由】 女性の就業率は、目標を上回る79.8%となったことから、「順調」と判断。 【課題】 働く女性・働きたい女性が、各々の希望に応じ、その個性と能力を十分に発揮して活躍できるよう、引き続きウーマンワークカフェ北九州を拠点としたワンストップでの就業支援を行うとともに、子育て中の女性でも相談しやすい体制の強化、時代のニーズを踏まえたスキルアップ支援など、女性に寄り添った幅広い支援を行う必要がある。	順調		
I-1-(4)-③ 若者の自立支援	2	⑧	若者ワークプラザ北九州運営事業	雇用・産業人材政策課	産業経済局雇用政策課	若年ワークプラザ北九州（小倉・黒崎）において、概ね40歳までの若年者及び氷河期世代の求職者を対象に、就業相談、各種就業関連情報の提供、セミナー、職場体験、職業紹介等により、若年者の就業支援を実施する。	就職決定者数	1,360人 (H30年度)	目標 1,300 人	実績 934 人	935 人	1,300人 (毎年度)	78,096	83,955	81,469	8,995	順調	【評価理由】 伴走型支援により、就職決定者数が目標の7割を超えたため、「順調」と判断。 【課題】 利用促進のため、大学・専門学校等へのPRを強化する必要がある。	順調	
I-2-(1)-① 北九州学術研究都市の機能の充実	3	⑧ ⑨	学術研究都市管理運営事業	未来産業推進課	産業経済局次世代産業推進課	アジアの中核的学術研究拠点の形成と本市の産業振興拠点としての機能を高めるため、北九州学術研究都市の学術研究施設を一体的に管理・運営することで、本市の産業を支える知的基盤の充実を図る。	施設の稼働率 ※中期目標改訂（R5年度目標設定時）	32% (H29年度)	目標 35 %	実績 33 %	36 %	32% (R5年度)	790,891	791,452	786,452	9,300	順調	【評価理由】 効率的な施設の管理運営を行いコスト削減を図るとともに、PRによる施設の稼働率の改善に努め、目標値を上回ったため、「順調」と判断。 【課題】 より効率的な施設の管理運営を目指し、より効果的なPR、積極的な周知を行う必要がある。	順調	

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善																																			
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題																											
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）																										
I-2-(1)-③ 最先端の研究開発を担う人材の確保・育成	4	⑧ ⑨	学術研究拠点推進事業	未来産業推進課	産業経済局次世代産業推進課	<p>（公財）北九州産業学術推進機構（FAIS）が行う大学間連携事業のほか、産学連携、半導体技術拠点形成、技術移転等の実施に対する支援等を行うことにより、北九州学術研究都市の研究開発拠点としての機能を高め、地域における産業技術の高度化と新たな産業の創出を図る。</p> <p>学研都市の取組評価（学研都市内の大学や入居企業・研究機関の評価）</p> <p>新たな研究開発プロジェクトに参加した企業数</p> <p>※指標廃止（R5年度目標設定時）</p> <p>学研都市産学連携施設への誘致件数</p> <p>※指標追加（R5年度目標設定時）</p>	60% (H25年度)	61社 (H27年度)	21社 (R3年度)	<table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>95 %</td> <td>95 %</td> <td rowspan="3">95% (毎年度)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>95.5 %</td> <td>93.2 %</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100.5 %</td> <td>98.1 %</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>80 社</td> <td colspan="2" rowspan="3">80社 (R4年度)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>37 社</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>46.3 %</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>25 社</td> <td>25 社</td> <td rowspan="3">25社 (毎年度)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>19 社</td> <td>12 社</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>76.0 %</td> <td>48.0 %</td> </tr> </table>	目標	95 %	95 %	95% (毎年度)	実績	95.5 %	93.2 %	達成率	100.5 %	98.1 %	目標	80 社	80社 (R4年度)		実績	37 社	達成率	46.3 %	目標	25 社	25 社	25社 (毎年度)	実績	19 社	12 社	達成率	76.0 %	48.0 %	308,658	310,837	294,958	7,325	順調	学研都市産学連携施設への誘致件数など目標が一部未達成であった指標もあるが、総合的な目標達成率から「順調」と判断。	順調	<p>【評価理由】</p> <p>学研都市産学連携施設への誘致件数など目標が一部未達成であった項目があるが、総合的な目標達成率から「順調」と判断。</p> <p>【課題】</p> <p>学術研究都市を中心とした各種産学連携事業、大学間連携事業において、更に効率的、効果的な取組が必要である。</p>
	目標	95 %	95 %	95% (毎年度)																																										
実績	95.5 %	93.2 %																																												
達成率	100.5 %	98.1 %																																												
目標	80 社	80社 (R4年度)																																												
実績	37 社																																													
達成率	46.3 %																																													
目標	25 社	25 社	25社 (毎年度)																																											
実績	19 社	12 社																																												
達成率	76.0 %	48.0 %																																												
5	⑦ ⑧ ⑨	未来を拓く次世代産業推進事業	未来産業推進課	産業経済局次世代産業推進課	<p>市と（公財）北九州産業学術推進機構（FAIS）が連携し、「脱炭素・グリーン成長」による地域産業の高度化や次世代産業の創出、新たな都市ブランド確立に向け、北九州学術研究都市を中心に研究開発の拠点化や人材育成・企業競争力の向上、施設のグリーン化などに取り組む。</p> <p>学研都市産学連携施設への誘致件数</p>	21社 (R3年度)	21社 (R3年度)	21社 (R3年度)	<table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>25 社</td> <td>25 社</td> <td rowspan="3">25社 (毎年度)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>19 社</td> <td>12 社</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>76.0 %</td> <td>48.0 %</td> </tr> </table>	目標	25 社	25 社	25社 (毎年度)	実績	19 社	12 社	達成率	76.0 %	48.0 %	—	78,500	75,436	9,300	順調	学研都市産学連携施設への誘致件数は目標未達成であったが、研究開発の拠点化や人材育成など事業の目的は達成しており、研究開発プロジェクト実施件数も令和4年度より大幅に増えた（R4：48件、R5：63件）ため、「順調」と判断。																					
目標	25 社	25 社	25社 (毎年度)																																											
実績	19 社	12 社																																												
達成率	76.0 %	48.0 %																																												

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題			
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）		
I-2-(2)-① 成長産業を支える高度人材の育成	6	⑧	インターンシップ等推進事業	雇用・産業人材政策課	産業経済局雇用政策課	インターンシップ事業の充実や市内企業と学生の交流会の開催など、学生と企業の出会いの場を提供することで、市内企業への就職や地元定着及び市内企業の人材確保を促進する。	インターンシップ参加者数	223人 (H30年度)	目標	375	人	390	人	400人 (R6年度)	7,250	12,814	12,555	3,200	順調	北九州商工会議所や地元企業、市内大学等と連携し、インターンシップ等の推進に取り組んだ結果、インターンシップ参加者数が目標の80%以上を達成しており、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 北九州商工会議所や地元企業、市内大学等と連携し、インターンシップ等の推進に取り組んだ結果、インターンシップ参加者数が目標の80%以上を達成しており、「順調」と判断。 【課題】 大学生の就職活動は早期化しつつあり、学生と地元企業との接点を早い段階で確保していく必要がある。
							実績	378	人	333	人											
							達成率	100.8	%	85.4	%											
I-2-(3)-① 中小企業の後継者育成の支援	7	⑧	事業承継・M&A促進化事業	中小企業振興課	産業経済局中小企業振興課	中小企業経営者の高齢化に伴い中小企業の数が増えるなど、事業承継は本市中小企業の喫緊の経営課題の一つとなっている。このため、潜在ニーズの掘り起こしから事業承継計画の策定など具体的な成果の創出までをトータルでサポートすることで、市内中小企業の円滑な事業承継を促進するもの。	事業承継・M&Aを完了した企業数（累計）	2社 (R2年度)	目標	6	社	8	社	10社(R2～R6年度累計)	884	5,030	2,895	3,960	順調	事業承継・M&Aを完了した企業数が目標を達成したため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 成果指標の達成率が100%であるため、「順調」と判断。 【課題】 事業承継の潜在ニーズの掘り起こしに注力すると共に、本市の事業承継施策利用を促進していく必要がある。
							実績	6	社	8	社											
							達成率	100.0	%	100.0	%											
I-2-(3)-① 中小企業の後継者育成の支援	8	⑧	雇用を守る事業承継・引継ぎ支援強化事業	中小企業振興課	産業経済局中小企業振興課	後継者不在の事業者やコロナ禍で休廃業を検討している事業者へ寄り添い、情報提供や企業訪問など、相談体制を強化することで、市内企業の経営資源の散逸防止や雇用の場を守る。	事業承継・M&Aを完了した企業数（累計）	2社 (R2年度)	目標	6	社	8	社	10社(R2～R6年度累計)	3,019	3,769	1,366	3,960	順調	事業承継・M&Aを完了した企業数が目標を達成したため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 成果指標の達成率が100%であるため、「順調」と判断。 【課題】 事業承継の潜在ニーズの掘り起こしに注力すると共に、本市の事業承継施策利用を促進していく必要がある。
							実績	6	社	8	社											
							達成率	100.0	%	100.0	%											

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）					
I-2-(3)-② 技術・技能を 継承する人材 の育成	9	9	北九州技能伝 承推進事業	雇用・産 業人材 政策課	産業 経済局 雇用政 策課	<p>金属・機械・電 気等の工業系分野 を対象とした「北 九州マイスター」 と、暮らしに身近 な生活関連・サー ビス産業なども含 めた幅広い分野を 対象とした「北九 州技の達人」の2つ の制度において、 高度技能者を認 定・表彰する。 認定された高度 技能者の協力の 下、優れた技能を 次代に継承し、地 域産業の振興に貢 献するための技術 継承活動を推進す る。</p>	マイスター及び 技の達人認定延 べ人数（毎年交 互に認定）	129名 (H30年 度)	目標 145 名	150 名	150名 (R5年 度)	6,754	7,797	6,683	15,400	順調	<p>マイスター及び技の達人認定 延べ人数は153名と、目標の 150名を達成し、講座受講者 と実技指導受講者の合計につ いても、概ね目標を達成した ため、「順調」と判断。</p>	順調	<p>【評価理由】 北九州技の達人によるイベ ント会場での実演、北九州マ イスターによる地元企業や工 業高校生への技術指導等、技 術継承活動を積極的に行った ため、「順調」と判断。</p> <p>【課題】 北九州マイスターや北九州 技の達人による技能伝承活動 の新たな場や、機会を作って いくことが課題である。</p>
							講座受講者と実 技指導受講者の 合計（累計）	7,495人 (H27～ H30年 度)	目標 14,000 人	15,750 人									
II-3-(2)-④ 女性の 活躍推 進	10	④ ⑤ ⑧ ⑩	女性輝き！推 進事業	雇用・産 業人材 政策課	総務 局女 性の 輝く 社会 推進 室	<p>働く女性・働き たい女性が、各々 の希望に応じ、そ の個性と能力を十 分に発揮し輝ける よう、キャリア アップや就職、創 業支援、子育てと の両立支援等、幅 広く女性の就業を 支援するほか、 ウーマンワークカ フェ北九州の更なる 周知広報と新規 利用者の獲得を図 る。</p>	女性の就業率 (25～44歳)	70% (H27年 国勢調 査))	目標 単年度目標 なし	73 %	73% (R5年 度)	11,081	10,248	9,628	9,300	順調	<p>キャリアアップ支援事業や 女性の起業支援事業、未就業 女性潜在層支援事業を対面に て実施し、各セミナーの満足 度が95%に達した。 また、女性の就業率は、目 標を上回る79.8%となったこ とから、「順調」と判断。</p>	順調	<p>【評価理由】 女性の就業率は、目標を上 回る79.8%となったことか ら、「順調」と判断。</p> <p>【課題】 働く女性・働きたい女性 が、各々の希望に応じ、その 個性と能力を十分発揮して活 躍できるよう、引き続きウー マンワークカフェ北九州を拠 点としたワンストップでの就 業支援を行うとともに、子育 て中の女性でも相談しやすい 体制の強化、時代のニーズを 踏まえたスキルアップ支援な ど、女性に寄り添った幅広い 支援を行う必要がある。</p>
									達成率	—	109.3 %								

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題						
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度	R5年度	中期 目標		決算額 （千円）	予算額 （千円）						決算額 （千円）					
II	⑤ ⑧ ⑩	ウーマンワーク カフェ北九州 運営事業	雇用・ 産業材 政策課	総務 局女性 の輝く 社会 推進室	女性の就職・ キャリアアップ・ 創業などをワン ストップで支援 する「ウーマン ワークカフェ北 九州」を運営 する。	女性の就業率 （25～44歳）	目標	単年度目標 なし	73 %	73% （R5年 度）	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
							実績	75.5% （R2年国勢 調査）	79.8 %																
							達成率	—	109.3 %																
						ウーマンワーク カフェ北九州利 用者の就職決定 率	目標	33 %	34 %	35% （R6年 度）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
							実績	37.9 %	41.6 %																
							達成率	114.8 %	122.4 %																
						ウーマンワーク カフェ北九州相 談者数	目標	6,300 人	6,400 人	6,500人 （R6年 度）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
							実績	8,464 人	7,780 人																
							達成率	134.3 %	121.6 %																
						IV-1- (1)-① 地域企 業のビ ジネス 展開を 推進す る組織 横断的 な体制 の整備	12	⑧ ⑨	新ビジネスモ デル創造に向 けたロボッ ト・DX推進	未来 産業 推進 課	産業 経済 局次 世代 産業 推進 課	ロボット・DX推 進センターを中 心として、市内 企業の生産性向 上や付加価値創 出に向けて切れ 目のない伴走支 援を実施するこ とに、ロボット ・デジタル関連 産業の振興を図 る。	ロボット導入・ DX推進企業数	84社 （R3年 度まで の累 計）	目標	180 社	500社 （R9年 度まで の累 計）	—	—	—	—	—	—	—	—
															実績	192 社									
															達成率	106.7 %									
13	⑧ ⑨	カーボン ニュートラ ル・グリーン 成長推進事業	未来 産業 推進 課	産業 経済 局次 世代 産業 推進 課	市内企業の事業 変革や技術・サ ービスの創出な ど、グリーン成 長に向けた機運 醸成のための 経営者向け講座 や相談窓口の創 設、専門家派遣 などの伴走支援 を実施。		グリーン対応実 践企業数	—	目標	10 社	100社 （R12年 度まで の累 計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
									実績	9 社															
									達成率	90.0 %															
<p>「わたしのおしごとカウンセ セリング」を令和5年7月より 開始し、女性に寄り添った支 援に力を入れた。 女性の就業率は、目標を上 回る79.8%となり、ウーマン ワークカフェ北九州の相談者 数・就職決定率も目標値（相 談者数6,400人・就職決定率 34%）を上回ったため、「順 調」と判断。</p>																									
<p>【評価理由】 北九州市ロボット・DX推進 センターを中心として、地域 企業のロボット導入・DX推進 に向けた、切れ目のない支援 を実施した。 また、地域企業のグリーン 成長に向けた支援体制の構築 に取り組んだことから、「順 調」と判断。</p>																									
<p>【課題】 DXモデル企業の創出。ま た、グリーン成長に向けた事 業変革や技術・サービス創出 などの地域企業の具体的な取 組に向け、企業のニーズを踏 まえ、継続した支援を行って いく必要がある。</p>																									

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度		R5年度		中期 目標	決算額 (千円)						予算額 (千円)
IV-1- (1)-② 中小企業 の競争力 向上	14	⑧	ビジネスチャ ンズ拡大支援 事業	中小企業 振興課	産業 経済 局中 小企 業振 興課	技術力はあるが 営業経験に乏し く、情報発信力も 十分ではない地元 中小企業の受注拡 大・販路開拓の取 組みを支援するもの。 ①大規模展示会等 出展支援 ②巡回指導・マッ チングコーディネ ット（（公財） 北九州産業学術推 進機構（FAIS）が 実施）	大規模展示会等 出展支援を行った 企業の中で、 商談成約に至った 企業割合	67% (H22年 度)	目標	65 %	65 %	65% (毎年 度)	13,610	14,654	13,273	1,980	順調	大規模展示会等出展支援を 行った企業の中で、商談成約 に至った企業割合について、 目標を達成したため、「順 調」と判断。	順調	【評価理由】 中小企業の経営力・技術力 等を強化するため、好転の場 となる機会の提供や技術開発 に取り組む企業の支援、相談 窓口での専門的・総合的サー ビスの提供などの支援を行っ た結果、競争力向上に寄与し たため、「順調」と判断。 【課題】 多様化する中小・小規模企 業のニーズに効率的かつ効果 的に対応することが必要であ る。
	15	⑧ ⑨	中小企業技術 開発振興助成 金	中小企業 振興課	産業 経済 局中 小企 業振 興課	新技術・新製品 開発に取り組む中 小企業に対する研 究開発費の助成を 行うことにより、 中小企業の技術開 発力の向上と高付 加価値企業への転 換を促進する。	製品化・実用化 の割合（助成5 年後）	67% (H18年 度助成 実施分)	目標	65 %	65 %	65% (毎年 度)	12,063	20,321	17,313	3,825	順調	製品化・実用化の割合につ いて、一定の成果を上げてい るため、「順調」と判断。		
	16	⑧	中小企業支援 センター特定 支援事業	中小企業 振興課	産業 経済 局中 小企 業振 興課	中小企業支援法 第7条に基づき、 （公財）北九州産 業学術推進機構 （FAIS）を指定法 人として、平成14 年度に北九州市中 小企業支援セン ター（以下「中小 企業支援セン ター」）を開設 し、市内中小企業 のための窓口相 談・専門家派遣・ 情報提供など、専 門的かつ総合的な サービスを提供し ている。 市は、これらの 事業を行うために 必要な経費を補助 している。	利用者アンケート による満足度 （窓口相談）	81% (H22年 度)	目標	90 %	90 %	90% (毎年 度)	15,768	17,370	14,705	2,730	順調	中小企業支援センター専門 家派遣件数は、令和4年度28 件から令和5年度10件に減少 しているものの、利用者満足 度は令和4年度91%から令和5 年度100%に上昇している。 また、中小企業支援セン ター相談件数は目標800件に 対し、1,279件と達成率が 100%を超え、利用者満足度 についても90%を超えてい る。 以上から、経営支援や相談 機関としての役割等を十分果 たしているとして、「順調」 と判断。		
					利用者アンケート による満足度 （専門家派遣）	96% (H25年 度)	目標	95 %	95 %	95% (毎年 度)										

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題		
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）	
IV-1- (1)-③ ベン チャー 企業 の 創出・ 育成	17	⑧ ⑨	北九州テレ ワークセン ター管理運営 事業	ス タ ー ト ア ッ プ 推 進 課	産 業 経 済 局 ス タ ー ト ア ッ プ 推 進 課	北九州テレワ ークセンターを「日 本一起業家に優し いまち」のシンボ ルとして市内全般 の創業を支援する ネットワークの中 心施設とする。	施設入居率	72% (H28年 度)	目標	90	%	90	%	90% (毎年 度)	82,940	104,180	91,663	11,050	順調	新たな指定管理者の知見や ノウハウを活かした効果的な 運営により、入居率が目標を 大きく上回っているため、 「順調」と判断。	【評価理由】 北九州テレワークセンター 管理運営事業については、入 居率が目標を大きく上回って おり、市内スタートアップ企 業の創出に寄与している。 スタートアップSDGsイノ ベーショントライアル事業に ついては、雇用創出数や製品 化・実用化の割合の実績が、 目標を達成しており、スタ ートアップ企業の成長に寄与 している。 以上のことから、「大変順 調」と判断。 【課題】 北九州テレワークセンター 管理運営事業について、高い 入居率の一方で商談スペース が埋まることが高まるなど 共用部分の需要が高まって おり、施設入居者の満足度を 高めるためにも対応の検討が 必要である。 スタートアップSDGsイノ ベーショントライアル事業に ついては、今後、地域経済を 牽引するようなスタートア ップ企業を創出していく必要 がある。
									実績	91.8	%	97	%								
									達成率	102.0	%	107.8	%								
	18	⑧ ⑨	スタートアッ プSDGsイノ ベーショント ライアル事業	ス タ ー ト ア ッ プ 推 進 課	産 業 経 済 局 ス タ ー ト ア ッ プ 推 進 課	成長見込みのあ るスタートアップ 企業が行う事業化 や実証実験の取組 に対して、補助金 の交付に加え、産 学官金が連携して 市内企業との協業 や販路拡大など企 業の成長を後押し することで、ス タートアップの力 で本市産業の活 性化を図る。	雇用創出数	—	目標	4	人	9	人	27人 (R6年 度ま での 累計)	87,393	90,000	87,226	13,800	大変 順調	採択スタートアップ企業へ の事業化支援及び実証支援の 成果が上がっており、雇用創 出数及び製品化・実用化の割 合の実績が、目標を達成した ため、「大変順調」と判断。	
									実績	20	人	60	人								
									達成率	500.0	%	666.7	%								
						製品化・実用化 の割合	—	目標	50	%	50	%	50% (毎年 度)								
								実績	40	%	55.6	%									
								達成率	80.0	%	111.2	%									

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題		
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）	
IV-1- (1)-⑤ 地元企 業の高 度化・ 新製品 開発支 援	19	⑧ ⑨	学術研究拠点 推進事業	未来 産業 推進 課	産 業 経 済 局 次 世 代 産 業 推 進 課	<p>（公財）北九州 産業学術推進機構 （FAIS）が行う大 学間連携事業のほ か、産学連携、半 導体技術拠点形 成、技術移転等 の実施に対する支 援等を行うこと により、北九州学 術研究都市の研究 開発拠点としての 機能を高め、地 域における産業 技術の高度化と 新たな産業の創 出を図る。</p>	学研都市の取組 評価（学研都市 内の大学や入居 企業・研究機関 の評価）	60% （H25年 度）	目標 95 %	実績 95.5 %	95 %	95 %	95% （毎年 度）	308,658	310,873	294,958	7,325	順調	学研都市産学連携施設への 誘致件数など目標が未達成で あった指標もあるが、総合 的な目標達成率から「順調」と 判断。	【評価理由】 学研都市産学連携施設への 誘致件数など目標が一部未達 成であった項目があるが、総 合的な目標達成率から「順 調」と判断。	
	新たな研究開発 プロジェクトに 参加した企業数	61社 （H27年 度）	目標 80 社	実績 37 社	80社 （R4年 度）	25社 （毎年 度）	25 社	12 社	48.0 %												
※指標廃止 （R5年度目標設 定時）	達成率 100.5 %	98.1 %	46.3 %																		
学研都市産学連 携施設への誘致 件数	21社 （R3年 度）	目標 25 社	実績 19 社	25社 （毎年 度）	25 社	12 社	48.0 %	76.0 %	※指標追加 （R5年度目標設 定時）												
20	⑦ ⑧ ⑨	未来を拓く次 世代産業推進 事業	未来 産業 推進 課	産 業 経 済 局 次 世 代 産 業 推 進 課	<p>市と（公財）北 九州産業学術推 進機構（FAIS） が連携し、「脱炭 素・グリーン成 長」による地域 産業の高度化や 次世代産業の創 出、新たな都市 ブランド確立に 向け、北九州学 術研究都市を中 心に研究開発の 拠点化や人材育 成・企業競争力 の向上、施設の グリーン化など に取り組む。</p>	学研都市産学連 携施設への誘致 件数	21社 （R3年 度）	目標 25 社	実績 19 社	25社 （毎年 度）	25 社	12 社	48.0 %	76.0 %	—	78,500	75,436	9,300	順調	学研都市産学連携施設への 誘致件数は目標未達成であ ったが、研究開発の拠点化や 人材育成など事業の目的は達 成しており、研究開発プロ ジェクト実施件数も令和4年 度より大幅に増えた（R4：4 8件、R5：63件）ため、「順 調」と判断。	【課題】 学術研究都市を中心とした 各種産学連携事業、大学間 連携事業において、更に効 率的、効果的な取組が必要 である。

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）
IV-1- (2)-① 次世代自動車 産業拠点の形成	21	⑧ ⑨	次世代自動車 産業推進事業	未来 産業 推進課	産業 経済 局次 世代 産業 推進課	自動車メーカー や部品サプライ ヤーのニーズや取 組を捉え、地元企 業の技術力等の積 極的な情報発信を しながら、ビジネ スマッチングの機 会拡大に取り組ん でいく。また併せ て国の交付金を活 用し、自動運転分 野への市内企業等 の参入、研究開発 施設の誘致等を図 り、次世代自動車 産業を推進してい く。	パーツネット北 九州会員数	57社 (H21年 度)	目標	105 社	105 社	105社 (R5年 度)	3,379	9,474	8,464	9,300	順調	地元企業等取引状況調査件 数は目標を大幅に上回り、セ ミナー・勉強会等の参加企業 数も目標を達成。その他は目 標未達ながら、令和4年度との 比較及び総合的な目標達成率 から「順調」と判断。	順調	【評価理由】 自動車産業支援センターを 中心として、自動車メーカー や部品サプライヤーのニーズ を踏まえた各種支援を実施し た。 また、地域企業のグリーン 成長に向けた支援体制の構築 に取り組んだことから、「順 調」と判断。 【課題】 EVシフトやカーボンニュ ートラル等の自動車業界全体 を取り巻く課題に対し、地域 の部品サプライヤーの支援を強 化し競争力向上を図っていく 必要がある。
									実績	96 社	100 社									
									達成率	91.4 %	95.2 %									
									目標	30 社・ 団体	30 社・ 団体									
実績	23 社・ 団体	33 社・ 団体																		
達成率	76.7 %	110.0 %																		
IV-1- (2)-② 我が国をリ ードするロ ボット産業 拠点の形成	22	⑧ ⑨	新ビジネスモ デル創造に向 けたロボット・DX推進	未来 産業 推進課	産業 経済 局次 世代 産業 推進課	ロボット・DX推 進センターを中心 として、市内企業 の生産性向上や付 加価値創出に向け て切れ目のない伴 走支援を実施する とともに、ロボッ ト・デジタル関連 産業の振興を図 る。	ロボット導入・ DX推進企業数	84社 (R3年 度まで の累 計)	目標	180 社	500社 (R9年 度まで の累 計)	—	339,700	292,620	9,300	順調	ロボット導入・DX推進企業 数は192社と目標の180社を達 成したため、「順調」と判 断。	順調	【評価理由】 北九州市ロボット・DX推進 センターを中心として、地域 企業のロボット導入・DX推進 に向けた、切れ目のない支援 を実施したため、「順調」と判 断。 【課題】 DXモデル企業の創出が必要 である。	
									実績	192 社										
									達成率	106.7 %										
IV-1- (2)-③ 素材・部 材産業	23	⑧ ⑨	企業立地促進 事業（素材・ 部材）	企業 立地 支援課	産業 経済 局企 業立 地支 援課	本市の強みであ る鉄鋼や化学など の素材・部材を扱 う地元企業の競争 力強化を支援する とともに、付加価 値の高い製品を扱 う製造業の企業誘 致に取り組む。	製造業（素材・ 部材関連）の新 規進出及び新規 設備投資件数 （累計）	—	目標	単年度目標 設定なし	15 件	15件 (R2～ R6年 度)	15,127	17,557	17,292	5,800	大変 順調	大変 順調	【評価理由】 素材・部材関連製造業の新 規進出及び新規設備投資件数 は、大幅な伸びを見せてお り、施策の推進に寄与できて いるため、「大変順調」と判 断。 【課題】 素材・部材関連製造業の新 規進出及び新規設備投資件数 の更なる増加のため、積極的 な誘致情報発信、訪問企業数 の増加が求められる。	
									実績	9 件	22 件									
									達成率	—	146.7 %									

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）
IV-1-(2)-④ 航空機産業の振興	24	⑧ ⑨	航空機産業誘致促進事業	企業立地支援課	産業経済局企業立地支援課	本市における航空機産業の振興を図るため、福岡県と共同で航空機関連企業の誘致に取り組むとともに、地元企業の新規参入、事業拡大に向けた支援を行う。	航空機産業の生産拠点等の誘致件数 ※指標廃止（R5年度目標設定時）	目標	1	件	1件 (R4年度までの累計)	1,504	1,937	1,246	3,650	順調	福岡県と連携し、地元企業の航空機産業への新規参入や事業拡大に向けた支援（セミナー・勉強会等）を、継続実施しており、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 福岡県と連携し、地元企業の航空機産業への新規参入や事業拡大に向けた支援（セミナー・勉強会等）を、継続実施しており、「順調」と判断。 【課題】 三菱スペースジェット（MSJ）の開発が中止となった後の航空機産業を再度どのように振興していくか、課題となる。	
								実績	0	件										単年度目標設定なし
IV-1-(2)-⑤ 知識サービス産業の振興	25	⑧	サービス産業振興事業	サービス産業政策課	産業経済局商業・サービス産業政策課	サービス産業の生産性向上のための啓発や具体的な活動を支援することにより、市内サービス産業の競争力向上を図る。	市内サービス事業者に対する取組支援件数	目標	7	社	7	社	1,784	3,200	902	10,800	順調	市内サービス事業者に対する取組支援件数が概ね目標を達成したため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 「市内サービス事業者に対する取組支援件数」が概ね目標を達成したため、「順調」と判断。 【課題】 更に多くの市内サービス産業の事業者の取組を支援することで、サービス産業の振興を進める必要がある。
								実績	11	社	5	社								
IV-1-(3)-① 成長性、経済波及効果の高い産業の重点的誘致	26	⑧ ⑨	企業立地促進事業	企業立地支援課	産業経済局企業立地支援課	本市への企業立地を促進するため、企業向けのパンフレットやホームページ等による情報発信や、立地企業と地元企業との交流会開催などを行う。	企業立地による新規雇用創出数（累計）	目標	2,400	人	3,200	人	15,127	17,557	17,292	5,800	順調	本市への企業進出が進み、企業立地による新規雇用創出数について、目標値を上回る成果が得られたため、「順調」と判断。	大変順調	【評価理由】 社会の変化やそれに伴う企業活動の動向を把握し、効果的な誘致活動を推進することで、特に、新規進出及び新規設備投資件数は、令和4年度と比較して設定目標を大きく上回る成果を上げたため「大変順調」と判断。 【課題】 市内の産業用地が不足している。
								実績	2,413	人	3,673	人								

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）					
	27	⑧ ⑨	次世代産業誘 致推進事業	企業 立地 支援 課	産業 経済 局 企業 立地 支援 課	サプライチェーンの強靱化や世界的な脱炭素化を見据え、今後の成長が見込まれる次世代産業を誘致するため、エネルギー転換やPPA導入など、カーボンニュートラルの視点で北九州市の立地優位性を見える化し、活用することで更なる誘致につなげる。	製造業の新規進出及び新規設備投資件数（累計）	—	目標 単年度目標 設定なし	10 件	10 件	10 件 （R4～ R6年 度）	1,770	3,000	1,283	5,400	大変 順調	製造業新規進出及び新規投資件数は、令和4年度と比較して1.5倍となり、目標を大幅に上回ることができたため、「大変順調」と判断。	
IV-1- (3)-② 効果的 な優遇 制度、 産業基 盤など の充実	28	⑧ ⑨	北九州空港跡 地産業団地整 備事業	企業 立地 支援 課	産業 経済 局 企業 立地 支援 課	北九州空港跡地産業団地の整備を行う。	分譲率	67% （H25年 度）	目標 83 %	83 %	83 %	分譲率 100% （R6年 度）	33,963	266,200	9,709	6,550	順調	分譲地の造成工事が完了していることから、「順調」と判断。	【評価理由】 北九州空港跡地の造成工事は完了している。 オフィスリノベーション補助金は、積極的な取組を継続し、一定の成果につながったことから、「順調」と判断。
	29	⑧ ⑨	オフィスリノ ベーション補 助金	企業 立地 支援 課	産業 経済 局 企業 立地 支援 課	IT企業等を新規に呼び込むため、また、市内拠点の増設を促すための受け皿が不足していることから、企業に選ばれるオフィス環境の整備を目的とし、市内オフィス等を改修する者に対して補助金を交付する。	企業誘致による雇用創出数＜情報通信企業＞（R2～R6年度累計）	1,302人 （H27～ 30年度 累計）	目標 1,200 人	1,600 人	2,000人 （R2～ R6年 度累 計）	0	30,000	6,860	7,900	大変 順調	本市への企業進出が進み、目標を大きく上回る成果が得られたことから、「大変順調」と判断。	【課題】 北九州空港跡地については、造成した分譲地を速やかに売却できるよう、引き続き支援を進めていく必要がある。 オフィスリノベーション補助金は、IT企業等に選ばれる魅力あるオフィスづくりを促進するため、オフィスのビル所有者等への支援を継続していく必要がある。	

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題				
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）			
IV-1- (3)-③ 人材供給、住環境整備などの立地支援	30	④ ⑧	進出IT関連企業への人材採用支援事業	企業立地支援課	産業経済局企業立地支援課	これまで市内外に構築してきた人材供給ネットワークを活用し、更なる新規企業の誘致に繋げる。	企業誘致による雇用創出数<情報通信企業>（R2～R6年度累計）	1,302人（H27～30年度累計）	目標 1,200 人	実績 1,727 人	達成率 143.9 %	1,600 人	2,451 人	153.2 %	2,000人（R2～R6年度累計）	5,122	6,000	5,340	7,900	大変順調	本市への企業進出が進み、目標を大きく上回る成果が得られたことから、「大変順調」と判断。	大変順調	【評価理由】 積極的な取組を継続し、一定以上の成果につながったことから、「大変順調」と判断。 【課題】 即戦力人材を中心に、IT企業が求める人材が不足していることを踏まえ、より個社の現状に即した細やかな採用支援を行う必要がある。
	31	⑧	おためしサテライトオフィス推進事業	企業立地支援課	産業経済局企業立地支援課	首都圏IT企業等を対象に、サテライトオフィス設置に向けた検討のための経費を助成するとともに、市内企業や学生とのマッチングを行う。	企業誘致による雇用創出数<情報通信企業>（R2～R6年度累計）	1,302人（H27～30年度累計）	目標 1,200 人	実績 1,727 人	達成率 143.9 %	1,600 人	2,451 人	153.2 %	2,000人（R2～R6年度累計）	26,336	23,000	20,128	7,900	大変順調	本市への企業進出が進み、目標を大きく上回る成果が得られたことから、「大変順調」と判断。	大変順調	【評価理由】 積極的な取組を継続し、一定以上の成果につながったことから、「大変順調」と判断。 【課題】 即戦力人材を中心に、IT企業が求める人材が不足していることを踏まえ、より個社の現状に即した細やかな採用支援を行う必要がある。
IV-2- (1)-① 中心市街地の商業振興	32	⑧	商店街リノベーションまちづくり推進事業	サービス産業政策課	産業経済局商業・サービス産業政策課	商店街における民間事業者のリノベーションまちづくり推進に向けた拠点整備の取組を、イベント開催などソフト面の支援で後押しすることで、官民連携による中心市街地の活性化を推進する。	黒崎地区商店街エリアの空き店舗率	16.9%（R3年度）	目標 R3年度比2ポイント改善（14.9%）	実績 13.7 %	達成率 108.1 %	R3年度比2ポイント改善（R7年度：14.9%以下）	—	6,000	1,000	6,150	順調	「イベント、セミナー等」については、官民連携による「空き店舗マップ」の作成に取り組んだ。 「商店街エリアの空き店舗率」と「黒崎地区歩行者通行量」が目標を達成しているため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 イベント、セミナーの開催回数は少ないものの、官民連携により空き店舗マップを作成し、令和6年度以降のリノベーションまちづくりに活用していく。 「商店街エリアの空き店舗率」と「黒崎地区歩行者通行量」が目標を達成しているため、「順調」と判断。 【課題】 空き店舗マップを活用しながら、空き店舗の活用及び商店街の活性化に向けて、官民連携で取り組む必要がある。			
							黒崎地区歩行者通行量（人/日）	12,581人（R3年度）	目標 12,681 人	実績 14,541 人	達成率 114.7 %	12,881人（R7年度）											

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題				
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）			
IV-2-(1)-② がんばる商店街への支援	33	⑧	商店街活性化支援事業	サービス産業政策課	産業経済局商業・サービス産業政策課	商店街の活性化に向け、商店街における空き店舗の有効利用促進や、新たな事業への補助、活性化計画作りを支援する。	市内主要商店街の空き店舗率	18.3% (R1年度)	目標 R1年度比 2ポイント 改善 (16.3%)	実績 18.6 %	85.9 %	R1年度比 2ポイント 改善 (16.3%)	18.8 %	84.7 %	R1年度 比2ポ イント 改善 (R5年 度:16.3 %以下)	13,167	16,000	21,128	3,075	順調	「市内主要商店街の空き店舗率」が概ね目標を達成しているため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 「市内主要商店街の空き店舗率」が概ね目標を達成しているため、「順調」と判断。 【課題】 制度活用件数は維持しつつ、消費者ニーズに沿った魅力ある商店街づくりへの取組や支援が必要。
IV-2-(1)-③ 次代を担う新しい事業者の創出・育成	34	⑧	商業人材育成事業	サービス産業政策課	産業経済局商業・サービス産業政策課	市内の商業・サービス業に対して、販促ノウハウなどの商業セミナー等の実施を通して、経営力の向上を支援する。	設定した目標を達成した事業者の割合	—	目標 80 %	実績 80 %	100.0 %	80% (毎年度)	80 %	100.0 %	1,210	2,200	1,246	3,075	順調	実践あきない塾に参加した各店舗が設定した目標を達成しており、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 各店舗が設定した目標を達成しており、次代を担う新しい事業者の育成に寄与していることから、「順調」と判断。 【課題】 各店舗への臨店研修という手法上、研修参加店舗数をこれ以上増やすことが難しい。	
IV-2-(2)-① 高齢者を中心とした健康・生活支援ビジネスの推進	35	⑧	健康・生活産業振興事業	サービス産業政策課	産業経済局商業・サービス産業政策課	企業、大学、医療・福祉機関、行政などが連携し、健康・介護、女性・若者、子育て・教育等に対応したビジネスや市民生活の質の向上に貢献するビジネスを振興するため、民間事業者からのビジネスプランの公募による助成や、北九州市健康・生活産業振興協議会を核に、企業間の交流や個別企業への具体的支援、複数企業によるサービスのパッケージ化を通して、新たなビジネスと雇用の創出を図る。	健康・生活産業の創出に向けた取組実績(イベント・セミナー等への来場者数)	2,353人 (H25年度)	目標 3,000 人	実績 2,206 人	73.5 %	3,000人 (毎年度)	2,569 人	85.6 %	692	4,000	772	6,900	順調	健康・生活産業の創出に向けたイベントを開催し、来場者数もコロナ禍前に近い実績まで戻っていることから、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 健康・生活産業の創出に向けたイベントを開催でき、来場者数もコロナ禍前に近い実績まで戻っていることから、「順調」と判断。 【課題】 健康・生活産業に関して、現状や課題の聞き取りを行い、事業継続に向けた支援を行っていく必要がある。	

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）					
IV-2-(2)-② ソーシャル ビジネス創出 の支援	36	⑧	健康・生活産 業振興事業	サー ビス 産業 政策 課	産業 経済 局商 業・ サー ビス 産業 政策 課	企業、大学、医 療・福祉機関、行 政などが連携し、 健康・介護、女 性・若者、子育 て・教育等に対応 したビジネスや市 民生活の質の向上 に貢献するビジネスを振興するた め、北九州市健 康・生活産業振興 協議会を核に、企 業間の交流や個別 企業への具体的支 援、複数企業によ るサービスのパッ ッケージ化を通し て、新たなビジネスと雇用の創出を 図る。	健康・生活産業 の創出に向けた 取組実績(イベ ント・セミナー 等への来場者 数)	2,353人 (H25年 度)	目標 3,000 人	実績 2,206 人	3,000人 (毎年 度)	692	4,000	772	6,900	順調	健康・生活産業の創出に向 けたイベントを開催し、来場 者数もコロナ禍前に近い実績 まで戻ったことから、「順 調」と判断。	順調	【評価理由】 健康・生活産業の創出に向 けたイベントを開催でき、来 場者数もコロナ禍前に近い実 績まで戻っていることから、 「順調」と判断。 【課題】 健康・生活産業に関して、 イベントの他にも支援を行 い、更なる産業振興に取り組 む必要がある。
IV-2-(2)-③ サービス産業 の高付 加価値 の推進 及び情 報通信 産業の 集積	37	⑧ ⑨	新ビジネスモ デル創造に向 けたロボッ ト・DX推進	未 来 産 業 推 進 課	産業 経済 局次 世代 産 業 推 進 課	ロボット・DX推 進センターを中心 として、市内企業 の生産性向上や付 加価値創出に向け て切れ目のない伴 走支援を実施する とともに、ロボッ ト・デジタル関連 産業の振興を図 る。	ロボット導入・ DX推進企業数	84社 (R3年 度まで の累 計)	目標 180 社	実績 192 社	500社 (R9年 度まで の累 計)	—	339,700	292,620	9,300	順調	ロボット導入・DX推進企業 数は192社と目標の180社を達 成したため、「順調」と判 断。	順調	【評価理由】 北九州市ロボット・DX推進 センターを中心として、地域 企業のロボット導入・DX推進 に向けた、切れ目のない支援 を実施したため、「順調」と判 断。 【課題】 DXモデル企業の創出が必要 である。
IV-2-(2)-④ サービス産業 への支 援の充 実	38	⑧	サービス産業 振興事業	サー ビス 産業 政策 課	産業 経済 局商 業・ サー ビス 産業 政策 課	サービス産業の 生産性向上のため の啓発や具体的な 活動を支援すること により、市内 サービス産業の競 争力向上を図る。	市内サービス事 業者に対する取 組支援件数	5社 (H26年 度)	目標 7 社	実績 11 社	7社 (毎年 度)	1,784	3,200	902	10,800	順調	「市内サービス事業者に対 する取組支援件数」が概ね目 標を達成したため、「順調」 と判断。	順調	【評価理由】 「市内サービス事業者に対 する取組支援件数」が概ね目 標を達成したため、「順調」 と判断。 【課題】 更に多くの市内サービス産 業の事業者の取組を支援する ことで、サービス産業の振興 を進める必要がある。

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善																
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題								
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）							
IV-2-(3)-① 地元産 品の6 次産業 化など ビジネス 化の 推進	39	⑭ ⑮	地元いちば ん・地産地消 推進事業	農林 課	産業 経済 局農 林課	生産者、消費 者、飲食・販売 店、加工製造の各 サポーターへの情 報提供等に努める とともに、各サ ポーター間の交流 の促進及び本市農 産物の認知度を高 めるため、市内産 食材の試食、販売 等の広報活動を行 う。	直売所等の販売 額	14億円 (H23年 度)	目標	19	億円	20	億円	20億円 (R5年 度)	1,795	3,350	2,613	12,300	順調	直売所等の販売額が目標を 概ね達成しているため「順 調」と判断。	順調	【評価理由】 市内食材の認知度を高める ためのPRイベントやSNSによ る広報活動ができており、直 売所等の販売額も18.2億円と 目標を概ね達成しているた め、「順調」と判断。 【課題】 生産者の主たる経営である 生産業が忙しく、また生産者 の高齢化が進む中、6次産業 までの経営拡大に繋げる事業者 が不足。					
									実績	18.3	億円	18.2	億円										達成率	96.3	%	91.0	%
									達成率	96.3	%	91.0	%														
IV-2-(3)-② 農林水 産業の 生産基 盤の整 備や担 い手の 育成	40	⑧	人づくり担 い手対策事業	農林 課	産業 経済 局農 林課	新たな農業従事 者の育成や、営農 組織・認定農業者 等への経営診断及 び活動支援などを 行い、農業分野に おける担い手を育 成・確保する。	市内で新規就農 した者	5件 (H22年 度)	目標	44	件	45	件	45件 (R5年 度)	15,472	21,234	17,359	9,150	大変 順調	経営診断等の実施は、10人 と目標の10人を達成してお り、新規就農者数、目標所得 を達成した認定農業者の割合 もそれぞれ目標を上回ったた め、「大変順調」と判断。	順調	【評価理由】 人づくり担い手対策事業に ついては、新規就農等で好調 な成果を収めている。 未来の農業スマート化推進 事業については、国の事業を 活用した実証に取り組み、一 定の成果を上げている。 ほ場整備推進事業について は、令和4年度と同じく、地元 合意が得られなかった。 以上のことから施策を総合 的に勘案した結果、「順調」 と判断。 【課題】 人づくり担い手対策事業に ついては、農業者の経営改善 を図るため、制度等の理解の さらなる浸透が必要である。 未来の農業スマート化推進 事業については、取組主体が まだ少ないことから、取組の 拡大が課題である。 ほ場整備推進事業について は、完成後のほ場の担い手と なる地元の理解を得る必要が あるが、協議が難航してい る。					
									実績	86	件	95	件										達成率	195.5	%	211.1	%
									達成率	195.5	%	211.1	%														
	41	⑧ ⑨	未来の農業ス mart化推進 事業	農林 課	産業 経済 局農 林課	北九州市の農業 形態に即したス mart農業の導入 を図るもの。 農業のスマート 化が進んでいない 農業現場におい て、関係機関で構 成される協議会を 立ち上げ、3ヵ年計 画で事業を進め る。	実証事業主体数	—	目標	1	件	4	件	4件 (R5年 度)	41,982	34,000	33,821	8,115	やや 遅れ	令和4～5年度で実施した実 証事業の主体数が2件で目標を 下回ったため、「やや遅れ」 と判断。							
									実績	1	件	2	件										達成率	100.0	%	50.0	%
									達成率	100.0	%	50.0	%														

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度	R5年度	中期 目標		決算額 （千円）	予算額 （千円）					
IV-2- (3)-③ 環境に 配慮した農林 水産業の推進	42	① ⑮	ほ場整備推進 事業	農林 課	産業 経済 局農 林課	若松区有毛浜田 地区等において、 農業の生産基盤と してほ場整備を行 い、耕作放棄地の 解消や耕地集積・ 集約化を進め、ま た担い手の確保に 取り組むとともに、 稲作等から高収 益作物への転換を 行う。	基盤整備面積 (ha) ※中期目標改訂 (R5年度目標設 定時)	0ha (H30年 度)	目標 — 実績 0 ha 達成率 —	— 0 ha —	5ha (R8年 度)	0	0	0	6,325	遅れ	令和4年度と同じく、地元の 合意が得られず事業が進展し ていないため、「遅れ」と判 断。		
	43	⑦ ⑨ ⑬ ⑮	放置竹林対策 事業	農林 課	産業 経済 局農 林課	管理されていない 竹林の増加により、 森林景観の悪化や 保水力の低下によ る災害の危険性が 問題となっている。 このような竹林の 拡大防止のため、 管理竹林への再生 を行う。さらに、 竹の粉碎機を市民 に無料で貸し出し ている。	活用された竹材 量 ※中期目標改訂 (R5年度目標設 定時)	—	目標 400 t 実績 33.7 t 達成率 8.4 %	200 t (R5年 度) 93.0 t 46.5 %	200+	36,531	43,381	38,909	1,480	やや 遅れ	活用された竹材量は目標を 下回ったが、竹粉碎機の貸出 件数は、13回と目標の10回を 上回ったため、「やや遅れ」 と判断。	【評価理由】 放置竹林対策事業について は、伐採搬出された竹材量は 作業者の人員減少や高齢化の ため目標を達成できなかった が、竹粉碎機の貸出件数は、 13回と目標の10回を上回っ た。 里海づくり推進事業につい ては、各種取組により種苗の 放流尾数の増加や藻場の造成 面積拡大という結果につな がったことから、「順調」と 判断。	
	44	⑭	里海づくり推 進事業	水産 課	産業 経済 局水 産課	人と自然が共生し、 豊かな水産資源と 生物多様性を持ち、 市民が海とふれあ える沿岸環境を 実現するため、「 里海づくり」を推 進する。藻場・干 潟の再生、漁場の 整備、魚介類の放 流などを行い、豊 饒な海をつくり、 漁業経営の安定化 を図るとともに、 市民に新鮮で安全 ・安心な水産物を 持続的に供給す る。	市内水産物の年 間漁獲量	4,069+ (H26年)	目標 4,300 t 実績 3,003 t 達成率 69.8 %	4,300 t 11月頃公表 予定 4,300+ (毎年)	4,300+	124,149	68,582	45,472	25,050	順調	藻場の造成面積（目標： 142,273㎡、実績：142,773 ㎡）は目標を達成し、種苗放 流尾数（目標：2,600万匹、 実績：2,692万匹）について も目標を達成している。 また、令和4年度の漁獲量目 標の達成率は69.8%であった ため、総合的な評価として 「順調」と判断。	【課題】 放置竹林対策事業について は、竹の搬出者及び竹材利用 者に対して事業の周知と竹の 利活用の促進が課題である。 里海づくり推進事業につい ては、海水温の上昇など急激 な自然環境の変化に伴う水産 資源の増減に柔軟に漁業者が 対応することが難しくなっ ている。	

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度		R5年度		中期 目標	決算額 (千円)						予算額 (千円)
IV-2-(3)-④ 農林水産業と市民との交流	45	⑧	総合農事センター管理運営事務	総合農事センター	産業経済局総合農事センター	総合農事センターは、「農業の振興」、「市民と農業の接点」、「憩いの場の提供」を基本方針として、都市型農業の振興を図るために農業に関する試験研究や展示栽培など営農問題の解決の一翼を担うほか、市民に農業を紹介し、学び、理解を深める施設として運営する。	総合農事センター入場者数	312千人 (H23年度)	目標	400 千人	400 千人	400千人 (R5年度)	65,710	60,107	67,090	23,450	順調	令和5年度は農業や食をテーマとした体験イベント、新規就農者や福祉施設に対する研修など、市民が農を学び理解を深める場を提供できた。また、適切な管理・運営による四季折々の草花は好評を得ている。施設整備については令和4年度に引き続き、老朽化対策に取り組んだため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 入場者数は令和4年度より減少したが、指定管理者及び市直管区域の適切な管理・運営により概ね施設の設置目的にかなったものとなった。また、施設の老朽化対策を実施している。以上のことから、「順調」と判断。 【課題】 引き続き、施設の老朽化対策に取り組むとともに、さらなる魅力アップに向けたイベントの開催、情報発信による集客を図る必要がある。
									実績	331 千人	324 千人									
IV-2-(3)-⑤ 農林水産業の危機管理体制の確立、防災機能の強化	46	⑭	水産物供給基盤整備事業（補助）	水産課	産業経済局水産課	漁業活動の効率化や防災機能の強化を図るため、水産物供給基盤（防波堤、岸壁、護岸、航路、泊地、棧橋、道路など）を整備する。	市内水産物の年間漁獲量	4,069t (H26年)	目標	4,300 t	4,300 t	4,300t (毎年)	171,522	247,400	211,394	23,750	順調	漁港施設整備単年度延長は、261mと目標の370mに対し、70.5%の達成率となったため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 水産物供給基盤整備事業については、漁港施設整備単年度延長261mと目標の370mに対し、70.5%の達成率となった。有害野生鳥獣被害対策事業については、有害鳥獣の被害や相談が多い地域に職員が訪問し、直接課題解決に向けて協議することにより、市民の理解と対策が進み成果に結びついた。農作物生産振興対策事業については、GAPに取り組む生産組織の割合が概ね目標を達成した。ため池防災事業については、監視カメラや水位計等の観測機器の設置件数が目標の100件に対して、令和4年度と同じく31件にとどまった。また、ため池劣化評価の実施箇所数が目標の90箇所に対し、79箇所となった。以上のことから施策として総合的に勘案した結果、「順調」と判断。
									実績	3,003 t	11月頃公表予定									
IV-2-(3)-⑤ 農林水産業の危機管理体制の確立、防災機能の強化	47	⑮	有害野生鳥獣被害対策事業	鳥獣被害対策課	産業経済局鳥獣被害対策課	イノシシ・サルなどの野生鳥獣による市街地や農作物被害に対応するため、わなや銃による捕獲や追払い、市民相談や現地対応、市民啓発等を実施する。	市民からの野生鳥獣の相談件数	978件 (H26年度)	目標	1,000 件	1,000 件	1,000件 / 年以下 (毎年度)	10,856	10,647	11,040	9,300	順調	鳥獣被害対策の市民啓発などに取り組んだ結果、市民からの相談件数は令和4年度を下回るとともに目標を達成したため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 水産物供給基盤整備事業については、漁港施設整備単年度延長261mと目標の370mに対し、70.5%の達成率となった。有害野生鳥獣被害対策事業については、有害鳥獣の被害や相談が多い地域に職員が訪問し、直接課題解決に向けて協議することにより、市民の理解と対策が進み成果に結びついた。農作物生産振興対策事業については、GAPに取り組む生産組織の割合が概ね目標を達成した。ため池防災事業については、監視カメラや水位計等の観測機器の設置件数が目標の100件に対して、令和4年度と同じく31件にとどまった。また、ため池劣化評価の実施箇所数が目標の90箇所に対し、79箇所となった。以上のことから施策として総合的に勘案した結果、「順調」と判断。
									実績	994 件	941 件									
								達成率	82.8 %	81.0 %										
								達成率	69.8 %	—										
								達成率	100.6 %	105.9 %										

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題		
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度		R5年度		中期 目標	決算額 (千円)						予算額 (千円)	決算額 (千円)
48	㊸		農作物生産振興対策事業	農林課	産業経済局農林課	農業者が農業に関する正しい知識を理解し、適正に使用し、安全な農産物を生産する状態にする。	農作物の安全・安心確保（GAP〔農業生産工程管理〕に取り組む生産組織の割合）	12% (H27年度)	目標	60	%	60	%	60% (R5年度)	323	1,049	303	6,150	順調	GAPに取り組む生産組織の割合の達成率が86%であるため、「順調」と判断。	【課題】 水産物供給基盤整備事業については、老朽化した漁港施設が多く、ライフサイクルコストを踏まえた予防保全型の維持補修について、計画的に実施できるよう予算を確保する必要がある。 有害野生鳥獣被害対策事業については、野生鳥獣の生息状況は刻々と変化するため、市民相談内容等を踏まえて、その時々状況にあわせて必要な対策を検討する必要がある。 農作物生産振興対策事業については、農業の適正使用に関する説明、指導した農家数及びGAPに取り組む組織が増加するよう更なる推進が必要である。 ため池防災事業については、十分な予算を確保していく必要がある。
									実績	51.6	%	51.6	%								
49	㊸		ため池防災事業	農林課	産業経済局農林課	近年頻発するため池の老朽化等を原因とする災害を防止する。	監視カメラや水位計等の観測機器の設置件数（累計）	0件 (R1年度)	目標	85	件	100	件	100件 (R5年度)	212,433	161,300	146,500	6,325	やや遅れ	監視カメラや水位計等の観測機器の設置件数が目標の100件に対して、令和4年度と同じく31件にとどまった。また、ため池劣化評価の実施箇所数が目標の90箇所に対し79箇所にとどまったことから、「やや遅れ」と判断。	
									実績	31	件	31	件								達成率
						ため池劣化状況評価の実施箇所数（累計）	0箇所 (R2年度)	目標	60	箇所	90	箇所	200件 (R10年度)								
								実績	42	箇所	79	箇所									達成率
IV-3-(1)-① 中小企業の人材不足への対応	50	㊸	合同会社説明会等開催事業	雇用・産業人材政策課	産業経済局雇用政策課	地元企業情報の提供・マッチングの創出、地元企業の若年者採用支援を行い、市内外の学生の地元企業への就職と市内定住の促進を図る。	合同会社説明会参加者数	1,682人 (H26年度)	目標	1,820	人	1,820	人	1,820人 (R6年度)	26,681	21,176	18,192	11,200	順調	北九州市商工会議所や地元企業、市内大学等と連携し、合同会社説明会の開催に取り組んだ結果、参加者数は目標の90%以上を達成しており、「順調」と判断。 DX時代に対応した第二新卒等採用力強化事業については、全国の転職希望者が集まる民間転職サイトへの求人掲載を支援することで市内就職者数が大きく増加した。 外国人材就業サポート事業	
実績	2,316	人	1,702	人	達成率	127.3	%	93.5	%												

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題		
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）	
51	⑧		北九州で働こう！U・Iターン応援プロジェクト	雇用・産業人材政策課	産業経済局雇用政策課	市内へのU・Iターン就職を希望する者と即戦力人材の確保を求める市内企業とをつなぐ本市独自のサービスとして、市内企業の求人情報の提供に加えて、専任コンサルタントによるカウンセリング、新規求人の発掘等を通して、U・Iターン就職支援を行う。	U・Iターン就職者数（累計）	766人 (H27～H30年度)	目標	720	人	960	人	1,200人 (R2～R6年度)	23,932	24,235	23,723	7,875	順調	U・Iターン就職者数は目標の90%以上を達成しているため、「順調」と判断。	については、企業訪問による需要把握や市内大学等との連携を促進した結果、マッチング件数の大幅増を継続した。人手不足企業への早期再就職・正規就職支援事業については、目標数値を達成した。九州・山ロー円の新卒者地元就職強化事業については、培った大学等との関係性のもと、Webを活用するイベントなど九州・山ロー円の大学への情報提供などを行った。ものづくり中小企業職場環境改善支援助成金については、目標を達成した。以上のことから、「順調」と判断。
							実績		670	人	904	人									
							達成率		93.1	%	94.2	%									
52	⑧		DX時代に対応した第二新卒等採用力強化事業	雇用・産業人材政策課	産業経済局雇用政策課	市内企業が全国から優秀な人材を獲得できるよう、WEB等を活用した「人材採用力」の育成から、全国の転職希望者が集まる民間転職サイトへの求人掲載までをトータルで支援するなど、U・Iターン転職を促進する。	市内企業への就職決定者数	21人 (H30年度)	目標	100	人	100	人	100人 (毎年度)	20,000	19,000	18,959	7,875	大変順調	【課題】 合同会社説明会等開催事業については、大学生の就職活動は早期化しており、学生と地元企業との接点を早い段階で確保していく必要がある。北九州で働こう！U・Iターン応援プロジェクトについては、U・Iターン就職につなぐため、効果的なイベント実施や周知に取り組む必要がある。 DX時代に対応した第二新卒等採用力強化事業については、引き続き、企業の手不足感が高まる中で、市内企業の人材確保に取り組んでいく必要がある。	
							実績		171	人	202	人									
							達成率		171.0	%	202.0	%									
53	⑧		外国人材就業サポート事業	国際ビジネス戦略課	産業経済局雇用政策課	外国人材就業サポートセンター運営事業や海外の連携大学等との交流事業の実施により、市内企業への就職を目指す留学生や海外大学生等の受け入れを支援する。	市内企業と留学生とのマッチング件数	—	目標	20	件	20	件	20件 (毎年度)	10,039	12,800	10,341	12,825	大変順調	積極的な企業訪問を行った結果、市内企業と留学生のマッチング件数は目標20件に対し45件と2倍以上の達成率となったため、「大変順調」と判断。 人手不足企業への早期再就職・正規就職支援事業については、求職者の希望と、求人のミスマッチの解消を図る必要がある。 九州・山ロー円の新卒者地元就職強化事業については、大学生の就職活動は早期化しており、学生と地元企業との	
							実績		37	件	45	件									
							達成率		185.0	%	225.0	%									

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善														
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題									
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度	R5年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)														
54	⑧		人手不足企業への早期再就職・正規就職支援事業	雇用・産業人材政策課	産業経済局雇用政策課	市内就業支援施設の就業相談カウンセラーや就職マッチング支援員を増員し、失業者の再就職や就職氷河期世代の正社員就職を支援する。また、早期の就職に繋げるため、人手不足業種へチャレンジする求職者には、短期の資格取得支援等を実施する。	就業支援施設（若者ワークプラザ北九州、高齢者就業支援センター）の就職決定者数	—	目標	2,000 人	2,000 人	2,000人 (毎年度)	33,176	38,130	35,416	7,875	順調		接点を早い段階で確保していく必要がある。 ものづくり中小企業職場環境改善支援助成金については、多様化する中小・小規模企業のニーズに効率的かつ効果的に対応することが必要である。									
								実績	2,095 人	2,031 人																		
								達成率	104.8 %	101.6 %																		
55	⑧		九州・山ロー円の新卒者地元就職強化事業	雇用・産業人材政策課	産業経済局雇用政策課	市内をはじめ、九州・山ロー円の学生の就職支援と市内企業の採用支援を目的に、合同会社説明会や業界研究イベント、学生と企業が出会う機会を従来の対面型に加えて、オンラインで提供する。	九州・山ロー円の学校からの市内企業への新卒就職者数	4,106人 (R1年度)	目標	4,400 人	4,500 人	4,600人 (R6年度)	11,172	13,850	11,390	7,400	順調	学校訪問では、本市が実施する市内企業への就職決定に関する調査への協力、地元企業の案内などの理解を得た。また、培った大学等との関係性のもと、Webを活用するイベントなど九州・山ロー円の大学への情報提供などを行った。 以上のことから、「順調」と判断。										
								実績	4,120 人	4,068 人																		
								達成率	93.6 %	90.4 %																		
							市外の学校から市内企業への新卒就職者数	680人 (H30年度)	目標	730 人	740 人	750人 (R6年度)																
								実績	1,065 人	1,050 人																		
								達成率	145.9 %	141.9 %																		
56	⑤ ⑧		ものづくり中小企業職場環境改善支援事業	中小企業振興課	産業経済局中小企業振興課	中小製造業・建設業者が行う女性専用設備の設置や女性・高齢者の作業をアシストする機器導入、暑さ対策設備の設置・機器導入等、職場環境の改善に必要な経費の一部を助成することで、人手不足に苦しむ市内中小企業の人材確保・定着を支援する。	助成金を活用する企業数	13社 (H29～H30年度)	目標	12 社	12 社	12社 (毎年度)	5,238	6,000	6,351	3,075	順調	助成金を活用する企業数が、目標を上回るため、「順調」と判断。										
								実績	12 社	14 社																		
								達成率	100.0 %	116.7 %																		

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題		
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）	
IV-3-(1)-② 地域企業 のニーズ に沿った 人材育成・ 確保の 促進	57	⑧	北九州で働こう！U・Iターン 応援プロジェクト	雇用・ 産業 人材 政策 課	産業 経済 局 雇 用 政 策 課	市内へのU・I ターン就職を希望 する者と即戦力人 材の確保を求める 市内企業とをつな ぐ本市独自のサー ビスとして、市内 企業の求人情報の 提供に加えて、専 任コンサルタント によるカウンセリ ング、新規求人の 発掘等を通して、 U・Iターン就職支 援を行う。	U・Iターン就職 者数（累計）	766人 (H27～ H30年 度)	目標	720 人	960 人	1,200人 (R2～R6 年度)	23,932	24,235	23,723	7,875	順調	U・Iターン就職者数は目標 の90%以上を達成しているた め「順調」と判断。	順調	【評価の理由】 北九州で働こう！U・Iター ン応援プロジェクトについ ては、U・Iターン就職者数 が目標の90%以上を達成し た。 若者ワークプラザ北九州運 営事業については、伴走型支 援により、就職決定者数が目 標の7割を超えた。 インターンシップ等推進事 業については、北九州商工 会議所や地元企業、市内大学 等と連携し、インターンシッ プ等の推進に取り組んだ結 果、インターンシップ参加者 数は目標値の80%以上を達 成した。 九州・山ロー円の新卒者地 元就職強化事業については、 培った大学等との関係性の もと、Webを活用するイベ ントなど九州・山ロー円の 大学への情報提供などを行 った。 DX時代に対応した第二新 卒等採用力強化事業につ いては、全国の転職希望者 が集まる民間転職サイトへ の求人掲載を支援すること で市内就職者数が大きく増 加した。 外国人材就業サポート事 業については、企業訪問に よる需要把握や市内大学等 との連携を促進した結果、 マッチング件数の大幅増を 継続した。 人手不足企業への早期再就 職・正規就職支援事業につ いては、目標数値を達成し た。 以上のことから、「順調」 と判断。	
							実績	670 人	904 人	達成率	93.1 %										94.2 %
							目標	1,300 人	1,300 人	実績	934 人										935 人
58	⑧		若者ワークプラザ北九州運 営事業	雇用・ 産業 人材 政策 課	産業 経済 局 雇 用 政 策 課	若年ワークプラ ザ北九州（小倉・ 黒崎）において、 概ね40歳までの若 年者及び氷河期世 代の求職者を対象 に、就業相談、各 種就業関連情報の 提供、セミナー、 職場体験、職業紹 介等により、若年 者の就業支援を実 施する。	就職決定者数	1,360人 (H30年 度)	目標	1,300 人	1,300 人	1,300人 (毎 年 度)	78,096	83,955	81,469	8,995	順調	カウンセリング利用者数 (10,586人)及び就職決定 者数(935人)が目標の7割 を超えたため、「順調」と判 断。	順調	外国人材就業サポート事 業については、企業訪問に よる需要把握や市内大学等 との連携を促進した結果、 マッチング件数の大幅増を 継続した。 人手不足企業への早期再就 職・正規就職支援事業につ いては、目標数値を達成し た。 以上のことから、「順調」 と判断。	
							実績	934 人	935 人	達成率	71.8 %										71.9 %
							目標	375 人	390 人	実績	378 人										333 人
59	⑧		インターン シップ等推 進 事業	雇用・ 産業 人材 政策 課	産業 経済 局 雇 用 政 策 課	インターンシッ プ事業の充実や市 内企業と学生の交 流会の開催など、 学生と企業の出 会いの場を提供す ること、市内企業 への就職や地元定 着及び市内企業の 人材確保を促進す る。	インターンシッ プ参加者数	223人 (H30年 度)	目標	375 人	390 人	400人 (R6年 度)	7,250	12,814	12,555	3,200	順調	北九州商工会議所や地元 企業、市内大学等と連携し 、インターンシップ等の推 進に取り組んだ結果、イン ターンシップ参加者数は目 標の80%以上を達成して おり、「順調」と判断。	順調	【課題】 北九州で働こう！U・Iター ン応援プロジェクトにつ いては、U・Iターン就職 につなぐため、効果的なイ ベント実施や周知に取 組む必要がある。 若者ワークプラザ北九州 運営事業については、利 用促進のため、大学・専 門学校等へのPRを強化す る必要がある。 インターンシップ等推 進事業については、大 学生の就職	
							実績	378 人	333 人	達成率	100.8 %										85.4 %

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善																					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題																
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）															
60	⑧		九州・山ロー円の新卒者地元就職強化事業	雇用・産業人材政策課	産業経済局雇用政策課	市内をはじめ、九州・山ロー円の学生の就職支援と市内企業の採用支援を目的に、合同会社説明会や業界研究イベント、学生と企業が出会う機会を従来の対面型に加えて、オンラインで提供する。	九州・山ロー円の学校からの市内企業への新卒就職者数	4,106人 (R1年度)	目標	4,400 人	4,500 人	4,600人 (R6年度)	11,172	13,850	11,390	7,400	順調	学校訪問では、本市が実施する市内企業への就職決定に関する調査への協力、地元企業の案内などの理解を得た。また、培った大学等との関係性のもと、Webを活用するイベントなど九州・山ロー円の大学への情報提供などを行った。以上のことから、「順調」と判断。		活動は早期化しつつあり、学生と地元企業との接点を早い段階で確保していく必要がある。 九州・山ロー円の新卒者地元就職強化事業については、大学生の就職活動は早期化しており、学生と地元企業との接点を早い段階で確保していく必要がある。 DX時代に対応した第二新卒等採用力強化事業については、引き続き、企業の人手不足感が高まる中で、市内企業の人材確保に取り組んでいく必要がある。 外国人材就業サポート事業については、引き続き、市内企業の需要確保、人材の供給機会確保を図り、制度活用促進に取り組んでいく必要がある。 人手不足企業への早期再就職・正規就職支援事業については、求職者の希望と、求人のミスマッチの解消を図る必要がある。															
								実績	4,120 人	4,068 人																									
								達成率	93.6 %	90.4 %																									
								61	⑧		DX時代に対応した第二新卒等採用力強化事業	雇用・産業人材政策課									産業経済局雇用政策課	市内企業が全国から優秀な人材を獲得できるよう、WEB等を活用した「人材採用力」の育成から、全国の転職希望者が集まる民間転職サイトへの求人掲載までをトータルで支援するなど、U・Iターン転職を促進する。	市内企業への就職決定者数	21人 (H30年度)	目標	100 人	100 人	100人 (毎年度)	20,000	19,000	18,959	7,875	大変順調	新型コロナウイルス感染症拡大を機に、市内企業のWebを活用した採用力等を強化し、全国の転職希望者が集まる民間転職サイトへの求人掲載を支援することで、市内就職者数が大きく増加したため、「大変順調」と判断。	
																								実績	171 人	202 人									
																								達成率	171.0 %	202.0 %									
62	⑧		外国人材就業サポート事業	国際ビジネス戦略課	産業経済局雇用政策課	外国人材就業サポートセンター運営事業や海外の連携大学等との交流事業の実施により、市内企業への就職を目指す留学生や海外大学生等の受け入れを支援する。	市内企業と留学生とのマッチング件数	—	目標	20 件	20 件	20件 (毎年度)	10,039	12,800	10,341	12,825	大変順調	積極的な企業訪問を行った結果、市内企業と留学生のマッチング件数は目標20件に対し45件と2倍以上の達成率となったため、「大変順調」と判断。																	
								実績	37 件	45 件																									
								達成率	185.0 %	225.0 %																									

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題				
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度	R5年度	中期 目標		予算額 （千円）	決算額 （千円）									
	63	⑧	人手不足企業への早期再就職・正規就職支援事業	雇用・産業人材政策課	産業経済局雇用政策課	市内就業支援施設の就業相談カウンセラーや就職マッチング支援員を増員し、失業者の再就職や就職氷河期世代の正社員就職を支援する。また、早期の就職に繋げるため、人手不足業種へチャレンジする求職者には、短期の資格取得支援等を実施する。	就業支援施設（若者ワークプラザ北九州、高年齢者就業支援センター）の就職決定者数	—	目標 2,000 人	実績 2,095 人	達成率 104.8 %	2,000 人	2,031 人	101.6 %	2,000人（毎年度）	33,176	38,130	35,416	7,875	順調	丁寧かつ質の高いカウンセリング等を行った結果、目標以上の就職決定者数を維持することができたため、「順調」と判断。		
IV-3-(2)-① 若年者の就業意識の啓発や能力開発・就職活動への支援	64	⑧	若者ワークプラザ北九州運営事業	雇用・産業人材政策課	産業経済局雇用政策課	若年ワークプラザ北九州（小倉・黒崎）において、概ね40歳までの若年者及び氷河期世代の求職者を対象に、就業相談、各種就業関連情報の提供、セミナー、職場体験、職業紹介等により、若年者の就業支援を実施する。	就職決定者数	1,360人（H30年度）	目標 1,300 人	実績 934 人	達成率 71.8 %	1,300 人	935 人	71.9 %	1,300人（毎年度）	78,096	83,955	81,469	8,995	順調	【評価理由】 若者ワークプラザ北九州運営事業については、伴走型支援により、就職決定者数が目標の7割を超えた。 北九州で働こう！U・Iターン応援プロジェクトについては、U・Iターン就職者数が目標の90%以上を達成した。 インターンシップ等推進事業については、北九州商工会議所や地元企業、市内大学等と連携し、インターンシップ等の推進に取り組んだ結果、目標値の80%以上を達成した。 九州・山ロー円の新卒者地元就職強化事業については、培った大学等との関係性のもと、Webを活用するイベントなど九州・山ロー円の大学への情報提供などを行った。 人手不足企業への早期再就職・正規就職支援事業については、目標数値を達成した。 以上のことから、「順調」と判断。	順調	【課題】 若者ワークプラザ北九州運営事業については、利用促進のため、大学・専門学校等へのPRを強化する必要がある。 北九州で働こう！U・Iターン応援プロジェクトについては、U・Iターン就職につなぐため、効果的なイベント実施や周知に取り組む必要がある。
	65	⑧	北九州で働こう！U・Iターン応援プロジェクト	雇用・産業人材政策課	産業経済局雇用政策課	市内へのU・Iターン就職を希望する者と即戦力人材の確保を求める市内企業とをつなぐ本市独自のサービスとして、市内企業の求人情報の提供に加えて、専任コンサルタントによるカウンセリング、新規求人の発掘等を通して、U・Iターン就職支援を行う。	U・Iターン就職者数（累計）	766人（H27～H30年度）	目標 720 人	実績 670 人	達成率 93.1 %	960 人	904 人	94.2 %	1,200人（R2～R6年度）	23,932	24,235	23,723	7,875	順調	U・Iターン就職者数は目標の90%以上を達成しているため、「順調」と判断。		

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題		
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）	
66	⑧		インターンシップ等推進事業	雇用・産業人材政策課	産業経済局雇用政策課	インターンシップ事業の充実や市内企業と学生の交流会の開催など、学生と企業の出会いの場を提供することで、市内企業への就職や地元定着及び市内企業の人材確保を促進する。	インターンシップ参加者数	223人 (H30年度)	目標	375	人	390	人	400人 (R6年度)	7,250	12,814	12,555	3,200	順調	北九州商工会議所や地元企業、市内大学等と連携し、インターンシップ等の推進に取り組んだ結果、インターンシップ参加者数は目標の80%以上を達成しており、「順調」と判断。	九州・山ロー円の新卒者地元就職強化事業については、大学生の就職活動は早期化しつつあり、学生と地元企業との接点を早い段階で確保していく必要がある。
									実績	378	人	333	人								
									達成率	100.8	%	85.4	%								
67	⑧		九州・山ロー円の新卒者地元就職強化事業	雇用・産業人材政策課	産業経済局雇用政策課	市内をはじめ、九州・山ロー円の学生の就職支援と市内企業の採用支援を目的に、合同会社説明会や業界研究イベント、学生と企業が出会う機会を従来の対面型に加えて、オンラインで提供する。	九州・山ロー円の学校からの市内企業への新卒就職者数	4,106人 (R1年度)	目標	4,400	人	4,500	人	4,600人 (R6年度)	11,172	13,850	11,390	7,400	順調	学校訪問では、本市が実施する市内企業への就職決定に関する調査への協力、地元企業の案内などの理解を得た。また、培った大学等との関係性のもと、Webを活用するイベントなど九州・山ロー円の大学への情報提供などを行った。以上のことから、「順調」と判断。	九州・山ロー円の新卒者地元就職強化事業については、大学生の就職活動は早期化しており、学生と地元企業との接点を早い段階で確保していく必要がある。
									実績	4,120	人	4,068	人								
									達成率	93.6	%	90.4	%								
						市外の学校から市内企業への新卒就職者数	680人 (H30年度)	目標	730	人	740	人	750人 (R6年度)								
								実績	1,065	人	1,050	人									
								達成率	145.9	%	141.9	%									
68	⑧		人手不足企業への早期再就職・正規就職支援事業	雇用・産業人材政策課	産業経済局雇用政策課	市内就業支援施設の就業相談カウンセラーや就職マッチング支援員を増員し、失業者の再就職や就職氷河期世代の正社員就職を支援する。また、早期の就職に繋げるため、人手不足業種へチャレンジする求職者には、短期の資格取得支援等を実施する。	就業支援施設（若者ワークプラザ北九州、高年齢者就業支援センター）の就職決定者数	—	目標	2,000	人	2,000	人	2,000人 (毎年度)	33,176	38,130	35,416	7,875	順調	丁寧かつ質の高いカウンセリング等を行った結果、目標以上の就職決定者数を維持することができたため、「順調」と判断。	
									実績	2,095	人	2,031	人								
									達成率	104.8	%	101.6	%								

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度	R5年度	中期 目標		予算額 （千円）	決算額 （千円）					
IV-3- (2)-② 女性が 活躍する産業 都市づくりの 推進	69	④ ⑤ ⑧ ⑩	女性輝き！推 進事業	雇用・ 産業人 材政策 課	総務 局女性 の輝く 社会推 進室	働く女性・働きたい女性が、各々の希望に応じ、その個性と能力を十分に発揮し輝けるよう、キャリアアップや就職、創業支援、子育てとの両立支援等、幅広く女性の就業を支援するほか、ウーマンワークカフェ北九州の更なる周知広報と新規利用者の獲得を図る。	女性の就業率 (25～44歳)	70% (H27年 国勢調査)	目標	単年度目標 なし	73 %	73% (R5年 度)	11,081	10,248	9,628	9,300	順調	キャリアアップ支援事業や女性の起業支援事業、未就業女性潜在層支援事業を対面にて実施し、各セミナーの満足度が95%に達した。 また、女性の就業率は、目標を上回る79.8%となったことから、「順調」と判断。	【評価理由】 女性の就業率は、目標を上回る79.8%となったことから、「順調」と判断。 【課題】 働く女性・働きたい女性が、各々の希望に応じ、その個性と能力を十分発揮して活躍できるよう、引き続きウーマンワークカフェ北九州を拠点としたワンストップでの就業支援を行うとともに、子育て中の女性でも相談しやすい体制の強化、時代のニーズを踏まえたスキルアップ支援など、女性に寄り添った幅広い支援を行う必要がある。
							実績		75.5% (R2年国勢調査)	79.8 %									
							達成率		—	109.3 %									
	70	⑤ ⑧ ⑩	ウーマンワークカフェ北九州運営事業	雇用・ 産業人 材政策 課	総務 局女性 の輝く 社会推 進室	女性の就職・キャリアアップ・創業などをワンストップで支援する「ウーマンワークカフェ北九州」を運営する。	ウーマンワークカフェ北九州利用者の就職決定率	—	目標	33 %	34 %	35% (R6年 度)	30,481	32,278	31,128	6,800	順調	「わたしのおしごとカウンセリング」を令和5年7月より開始し、女性に寄り添った支援に力を入れた。 女性の就業率は、目標を上回る79.8%となり、ウーマンワークカフェ北九州の相談者数・就職決定率も目標値（相談者数6,400人・就職決定率34%）を上回ったため、「順調」と判断。	
							実績		37.9 %	41.6 %									
							達成率		114.8 %	122.4 %									
ウーマンワークカフェ北九州相談者数	—	目標	6,300 人	6,400 人	6,500人 (R6年 度)	実績	8,464 人	7,780 人	達成率	134.3 %	121.6 %								

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題		
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）	
IV-3- (2)-③ 能力や 意欲を 活かした 中高年 齢者 や障害 のある 人の就 業促進	71	③ ④ ⑧	高年齢者就業 支援センター 運営事業	雇用・ 産業 人材 政策 課	産業 経済 局雇 用政 策課	高年齢者就業支 援センターを拠点 として、高年齢者 に対し就業支援を 実施する。また、 就業に関連するセ ミナーを実施す る。	中高年齢者の就 職者数	768人 (H30年 度)	目標 700 人	実績 900 人	700 人	863 人	3,500人 (R2~R6 年度)	32,501	32,422	31,618	6,170	大変 順調	中高年齢者の就職者数はシ ニア・ハローワーク戸畑等、 関係機関との円滑な連携の結 果、目標を上回ったため、 「大変順調」と判断。	順調	【評価の理由】 高年齢者就業支援センター 運営事業については、中高年 齢者の就職者数はシニア・ハ ローワーク戸畑等、関係機関 との円滑な連携の結果、目標 を上回った。 セカンドキャリア支援プロ ジェクトについては、令和4年 度と比較し、企業訪問件数 (549回⇒439回)及び人材情 報仲介件数は減少したが、目 標を大きく上回った。 シニアと企業の出会いの場 創出事業～シニア活躍応援プ ロジェクト～については、概 ね50歳以上の求職者を対象と した市内企業とのマッチング イベントを開催した結果、参 加者のうち就職が決定した人 数が目標の60%に達した。 以上のことから、「順調」 と判断。 【課題】 高年齢者就業支援センター 運営事業については、高年齢 者就業支援センターの認知度 向上及び利用者数増加。 シニアと企業の出会いの場 創出事業～シニア活躍応援プ ロジェクト～については、シ ニア雇用に対する企業理解を 促進し、マッチングの増加を 図っていくことが必要であ る。
	72	③ ⑧	セカンドキャ リア支援プロ ジェクト	雇用・ 産業 人材 政策 課	産業 経済 局雇 用政 策課	U・Iターン求人 支援員が、U・I ターン希望者を対 象として市内企業 を訪問し、潜在的 ニーズを発掘する など機能を強化す る。	首都圏等におけ るセカンドキャ リア転職希望者 と市内企業が求 める人材との年 間仲介件数	368件 (H30年 度)	目標 200 件	実績 340 件	200 件	318 件	200件 (毎年度)	7,000	7,000	7,000	2,210	大変 順調	企業訪問等回数（目標： 300回、実績439回）及び仲介 件数は目標を大きく上回った ため、「大変順調」と判断。		
	73	③ ⑧	シニアと企業 の出会いの場 創出事業～シ ニア活躍応援 プロジェクト～	雇用・ 産業 人材 政策 課	産業 経済 局雇 用政 策課	働く意欲のある シニア人材の就業 促進と市内企業の 人手不足の緩和を 目的に、企業向け のシニア活用セミ ナーと仕事体験付 き合同会社説明会 をセットにした マッチングイベ ントを開催する。	マッチングイベ ント参加者のう ち就職が決定し た人数	—	目標 /	実績 /	100 人	60 人	100人 (毎年度)	—	6,400	6,388	3,960	順調	概ね50歳以上の求職者を対 象とした市内企業とのマッチ ングイベントを開催した結 果、参加者のうち就職が決定 した人数が目標の60%に達し たため、「順調」と判断。		

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）					
IV-4-(3)-② にぎわいづくりによる集客交流産業の拡充	74	⑧	リノベーションまちづくり推進事業	サービ ス産業 政策課	産業 経済局 商業・ サービス 産業政策 課	<p>遊休不動産をリノベーションの手法を活用して再生させ、新規創業者や新規雇用者を創出する。今後は、他地区展開を行うことにより、小倉北区以外のまちなかのにぎわいを拡大させる取り組みを推進する。</p>	リノベーションまちづくり事業を通じての新規創業者・新規雇用者数（累計）	277人 (H27～ H30年 度)	目標	120 人	180 人	300人 以上 (R2～R6 年度)	6,608	3,500	1,135	17,950	順調	<p>リノベーションまちづくり推進事業における「事業化件数」の達成率は20%であるものの、「新規創業者・新規雇用者数」は達成率77.8%であるため、「順調」と判断。</p>	<p>【評価理由】 リノベーションまちづくり推進事業における「事業化件数」の達成率は20%であるものの、「新規創業者・新規雇用者数」は達成率77.8%である。 また、「商店街エリアの空き店舗率」及び「黒崎地区歩行者通行量」は目標を達成しているため、「順調」と判断。 【課題】 現状やニーズの把握・分析を行い、市街地の更なるにぎわい創出に向けて、引き続き官民連携で事業に取り組む必要がある。</p>
			実績	104 人	140 人														
		達成率	86.7 %	77.8 %															
			リノベーションまちづくりにおける事業化件数	5件 (H27年 度)	目標	5 件	5 件	5件 (毎 年 度)											
			実績	3 件	1 件														
			達成率	60.0 %	20.0 %														
	75	⑧	商店街リノベーションまちづくり推進事業	サービ ス産業 政策課	産業 経済局 商業・ サービス 産業政策 課	<p>商店街における民間事業者のリノベーションまちづくり推進に向けた拠点整備の取組を、イベント開催などソフト面の支援で後押しすることで、官民連携による中心市街地の活性化を推進する。</p>	黒崎地区商店街エリアの空き店舗率	16.9% (R3年 度)	目標		R3年度比 2ポイント 改善 (14.9%)	R3年度 比2ポ イント改 善(R7 年度： 14.9% 以下)	—	6,000	1,000	6,150	順調	<p>「イベント、セミナー等」については、官民連携による「空き店舗マップ」の作成に取り組んだ。 「商店街エリアの空き店舗率」と「黒崎地区歩行者通行量」が目標を達成しているため、「順調」と判断。</p>	
			実績		13.7 %														
			達成率		108.1 %														
			黒崎地区歩行者通行量（人/日）	12,581 人(R3 年度)	目標		12,681 人	12,881 人(R7 年度)											
			実績			14,541 人													
			達成率			114.7 %													

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題		
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）	
V-1- (2)-② 文化・ 交流、 居住機 能を重 視した 副都心 づくり	76	⑧	商店街リノベ ーションま ちづくり 推進事 業	サー ビス 産業 政策 課	産 業 経 済 局 商 業・ サー ビス 産業 政策 課	商店街における 民間事業者のリノ ベーションまちづ くり推進に向けた 拠点整備の取組 を、イベント開催 などソフト面の支 援で後押しするこ とで、官民連携に よる中心市街地の 活性化を推進す る。	黒崎地区商店街 エリアの空き店 舗率	目標			R3年度比 2ポイント 改善 (14.9%)	R3年度 比2ポ イント改 善 (R7 年度： 14.9% 以下)	—	6,000	1,000	6,150	順調	「イベント、セミナー等」 については、官民連携による 「空き店舗マップ」の作成に 取り組んだ。 「商店街エリアの空き店舗 率」と「黒崎地区歩行者通行 量」が目標を達成しているた め、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 イベント、セミナーの開催 回数は少ないものの、官民連 携により空き店舗マップを作 成し、令和6年度以降のリノ ベーションまちづくりに活用 していく。 「商店街エリアの空き店舗 率」と「黒崎地区歩行者通行 量」が目標を達成しているた め、「順調」と判断。 【課題】 空き店舗マップを活用しな がら、空き店舗の活用及び商 店街の活性化に向けて、官民 連携で取り組む必要がある。	
								実績	16.9%		13.7 %										
								達成率			108.1 %										
							黒崎地区歩行者 通行量（人/ 日）	12,581 人 (R3 年度)	目標			12,681 人	12,881 人 (R7 年度)	実績	14,541 人	達成率	114.7 %				
V-1- (2)-③ 未利用 地等の 活用	77	⑧	リノベーシ ョンまち づくり 推進事 業	サー ビス 産業 政策 課	産 業 経 済 局 商 業・ サー ビス 産業 政策 課	遊休不動産をリ ノベーションの 手法を活用して再生 させ、新規創業者 や新規雇用者を創 出する。今後は、 他地区展開を行う ことにより、小倉 北区以外のまちな かのにぎわいを拡 大させる取り組み を推進する。	リノベーション まちづくり事業 を通じての新規 創業者・新規雇 用者数（累計）	目標	120 人	180 人	300人 以上 (R2~R6 年度)	6,608		3,500	1,135	17,950	順調	リノベーションまちづくり 推進事業における「事業化件 数」の達成率は20%であるも の、「新規創業者・新規雇 用者数」は達成率77.8%であ るため、「順調」と判断。 【課題】 新規の事業化に向けて、事 業内容の周知及び不動産オー ナーと出店者のマッチング支 援を行う必要がある。	順調	【評価理由】 リノベーションまちづくり 推進事業における「事業化件 数」の達成率は20%であるも の、「新規創業者・新規雇 用者数」は達成率77.8%であ るため、「順調」と判断。 【課題】 新規の事業化に向けて、事 業内容の周知及び不動産オー ナーと出店者のマッチング支 援を行う必要がある。	
								実績	104 人	140 人											
								達成率	86.7 %	77.8 %											
							リノベーション まちづくりにお ける事業化件数	5件 (H27年 度)	目標	5 件	5 件	5件 (毎年 度)	実績	3 件	1 件	達成率	60.0 %	20.0 %			
V-1- (3)-② 産業拠 点の整 備	78	⑧ ⑨	北九州空港跡 地産業団地整 備事業	企 業 立 地 支 援 課	産 業 経 済 局 企 業 立 地 支 援 課	北九州空港跡地 産業団地の整備を 行う。	分譲率	目標	83 %	83 %	分譲率 100% (R6年 度)		33,963	266,200	9,709	6,550	順調	分譲地の造成工事が完了し ていることから、「順調」と 判断。 【課題】 造成した分譲地を速やかに 売却できるように、引き続き交 渉を進めていく必要がある。	順調	【評価理由】 造成工事が完了しているこ とから、「順調」と判断。 【課題】 造成した分譲地を速やかに 売却できるように、引き続き交 渉を進めていく必要がある。	
								実績	78 %	78 %											
								達成率	94.0 %	94.0 %											

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）					
V-1-(3)-③ 物流拠点の整備	79	⑨ ⑪	物流活性化推進事業	物流拠点推進室	産業経済局物流拠点推進室	物流事業者や荷主企業等、有識者、行政の産学官で構成する「北九州市物流懇話会」において、物流業界における課題をテーマとしたシンポジウムや勉強会等を開催し、本市の物流活性化を推進する。 勉強会・シンポジウムへの参加企業等の数 ※中期目標改訂（R5年度目標設定時）	—	目標	60 社	100 社	100社 （毎年度）	2,234	4,000	5,907	7,250	大変 順調	勉強会・シンポジウム・セミナーを計7回開催した。Web配信等も活用することで目標より多くの企業の参加があったことから、「大変順調」と判断。	順調	【評価理由】 「北九州市物流懇話会」は、物流事業者同士の意見交換や、ニーズ調査の場として機能している。また、モーダルシフトを推進するための補助事業についても、目標を上回る活用がなされたことから、「順調」と判断。 【課題】 運送事業者は2024年問題をはじめとした様々な課題に直面しており、引き続き共同配送や物流DXの推進など、物流効率化につながる取組等を行う必要がある。
	実績	167 社	201 社	達成率	278.3 %	201.0 %													
目標	7,000 m ³	8,400 m ³	26,000 m ³ （R6年度）	4,162	31,000	8,174	7,250	順調	北九州市中央卸売市場の集約拠点が稼働を開始し、また2024年問題の影響で本市への集約化が進んだことから、目標より多くの貨物量を記録したため、「順調」と判断。										
実績	4,970 m ³	9,240 m ³								達成率	71.0 %	110.0 %							
達成率	71.0 %	110.0 %																	
80	⑨ ⑪	九州発貨物の集約拠点化支援事業	物流拠点推進室	産業経済局物流拠点推進室	本市が有する陸海空の物流インフラを活用し、物流の活性化を促進するため、九州の発貨物を本市に集積させる取組みを支援する。第一弾として、北九州市中央卸売市場内等における農産物を集約した首都圏向けフェリー輸送に対して、必要となる経費の一部を補助することで、農産物の集約拠点化を支援する。 取組により本市に集積した発貨物の量（m ³ ）	—	目標	7,000 m ³	8,400 m ³	26,000 m ³ （R6年度）	4,162	31,000	8,174	7,250	順調	北九州市中央卸売市場の集約拠点が稼働を開始し、また2024年問題の影響で本市への集約化が進んだことから、目標より多くの貨物量を記録したため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 「北九州市物流懇話会」は、物流事業者同士の意見交換や、ニーズ調査の場として機能している。また、モーダルシフトを推進するための補助事業についても、目標を上回る活用がなされたことから、「順調」と判断。 【課題】 運送事業者は2024年問題をはじめとした様々な課題に直面しており、引き続き共同配送や物流DXの推進など、物流効率化につながる取組等を行う必要がある。	
実績	4,970 m ³	9,240 m ³	達成率	71.0 %	110.0 %														
達成率	71.0 %	110.0 %																	

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題				
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度		R5年度		中期 目標	決算額 (千円)						予算額 (千円)	決算額 (千円)		
VI-2- (1)-③ 総合的 な緑 化・森 林整備 の実施	81	⑦ ⑨ ⑬ ⑮	荒廃森林整備 事業	農林 課	産業 経済 局農 林課	<p>森林は、水を貯え、土砂災害を防ぎ、二酸化炭素を吸収するなどの公益的機能の働きによって、市民の生活にさまざまな恵みを与えている。しかし、長期間手入れがなされず、荒廃した森林が増え、このような働きが低下し、市民の生活に重大な影響を及ぼすことが懸念されている。このため、平成20年度に創設された「福岡県森林環境税」を活用し、荒廃した森林の再生を推進する。</p> <p>平成30年度から令和9年度の10年間で公益的機能が発揮できなくなる恐れのある私有林のスギ林やヒノキ林の整備面積</p> <p>※中期目標改訂（R5年度目標設定時）</p>	0ha (H29年 度)	目標	100	ha	100	ha	100ha (R5年 度)	90,500	90,000	90,000	5,575	順調	<p>荒廃森林整備面積は目標を下回ったが、整備に向けた荒廃森林調査が順調に進んでおり、整備が今後さらに進むと考えられることから、「順調」と判断。</p>	<p>【評価理由】 荒廃森林整備事業について、荒廃森林調査が進んでおり、荒廃森林の整備も概ね順調に進めることができた。森林環境保全事業による森林整備については、林道整備や竹林整備を行い、木材生産の促進につなげることができた。森林経営管理権の設定に係る意向調査は目標を上回る面積で実施することができた。以上のことから「順調」と判断。</p>			
	達成率	89.0	%	77.0	%	大変 順調	<p>経営管理権の設定面積</p> <p>※中期目標改訂（R5年度目標設定時）</p>	—	目標	50	ha	50									ha	50ha (毎年 度)	92,759
達成率	100.4	ha	123.2	ha	200.8	%	246.4	%	目標	90	ha	90	ha	90ha (毎年 度)	13,749	15,468	13,453	5,400	順調	<p>面積目標に若干足りなかったが、連作障害回避のための面積調整の結果によるものであるため、「順調」と判断。</p>	<p>【評価理由】 若干の目標未達だが、連作障害回避のための面積調整の結果によるものであるため、「順調」と判断。</p> <p>【課題】 環境に配慮した農業は経済的なリスクを伴うため、取組面積が固定されてきている。</p>		
達成率	76.7	ha	76.0	ha	85.2	%	84.4	%	環境に配慮した農業に取り組んだ面積	0ha (H22年 度)	実績	76.7	ha									76.0	ha
達成率	85.2	%	84.4	%	環境に配慮した農業に取り組んだ面積	0ha (H22年 度)	目標	90	ha	90	ha	90ha (毎年 度)	13,749	15,468	13,453	5,400	順調	<p>面積目標に若干足りなかったが、連作障害回避のための面積調整の結果によるものであるため、「順調」と判断。</p>	<p>【評価理由】 若干の目標未達だが、連作障害回避のための面積調整の結果によるものであるため、「順調」と判断。</p> <p>【課題】 環境に配慮した農業は経済的なリスクを伴うため、取組面積が固定されてきている。</p>				
VI-3- (3)-① 環境に 配慮した 農林水 産業の 推進	83	② ⑬	中山間地域・ 生産環境保全 支援事業	農林 課	産業 経済 局農 林課	<p>地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対して助成する。</p> <p>環境に配慮した農業に取り組んだ面積</p>	0ha (H22年 度)	目標	90	ha	90									ha	90ha (毎年 度)	13,749	15,468

令和5年度 行政評価の取組結果（産業経済局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）
VII-2-(1)-③ 北九州発ブランドの海外ビジネス支援	84	⑧	国際競争力強化支援事業（販路開拓）	国際ビジネス戦略課	産業経済局スタートアップ推進課	北九州市、ジェトロ北九州、（公社）北九州貿易協会の3機関で設置している「北九州貿易・投資ワンストップサービスセンター（KTIセンター）」において、販路開拓、部品調達など地元企業の海外ビジネス推進を支援することにより、企業の国際競争力の向上を図る。	市内企業の海外ビジネス成約件数	17件 (H23年度)	目標	20 件	20 件	20件 (毎年度)	4,644	8,325	4,031	17,300	大変 順調	地元企業と海外バイヤーとの商談会等を積極的に行った結果、市内企業の海外ビジネス成約件数が目標を上回ったため、「大変順調」と判断。	大変 順調	【評価理由】 地元企業と海外バイヤーとの商談会等を積極的に行った結果、市内企業の海外ビジネス成約件数が目標を上回ったため、「大変順調」と判断。 【課題】 海外展開の潜在的可能性がある企業の新規掘り起こしにより、輸出促進による事業成長を図る地元企業の拡大が常に期待される。
VII-2-(3)-① アジアから本市への投資の呼び込み	85	⑧	国際競争力強化支援事業（対日投資）	国際ビジネス戦略課	産業経済局スタートアップ推進課	海外企業の本市進出や、地元企業との事業連携等を促進するため、ジェトロや関係機関と連携して、本市のビジネス環境などのPRを積極的に行うとともに、PRに必要なツールの作成・整備を行う。	本市への外国企業・機関の拠点設置・協業件数	1件 (H26年度)	目標	1 件	1 件	1件 (毎年度)	3,742	4,543	3,497	6,900	大変 順調	海外への積極的なPR活動の結果、本市への外国企業・機関の拠点設置・協業件数が目標を上回ったため、「大変順調」と判断。	大変 順調	【評価理由】 海外への積極的なPR活動の結果、本市への外国企業・機関の拠点設置・協業件数が目標を上回ったため、「大変順調」と判断。 【課題】 海外企業誘致にかかる市内協業先の拡大や実証実験等の協力先の確保について更なる情報収集、関係構築が求められる。